

NPO法人 サン・はぎわら通信

発行:NPO 法人サン・はぎわら(平成 29 年 1 月 冬号)

28 年 11 月 6 日に NPO 法人サン・はぎわら設立 10 周年記念式典を行いました。あつと言う間の 10 年だったと改めて感慨深い時間となりました。先人が唱えた「町が私たちに何をしてくれるのかを問う前に、私たちは、町や地域に何が出来るのかを自問自答すべきである」の言葉を噛み締め、「この町を自分たちの手で守り、さらに良くしてゆこう」というふれあいの地域づくりの理念が、私たちに力を授けてくれることを強く意識し活動を行ってきました。地域の皆様の善意、あたたかさ、優しさ、親切、思いやり・・・私たちの町はすごいなあ・・・、よそには負けない大きな地域力、市民力が実感できました。地域の皆さん、そして行政の方々に支えられて歩んできたこの 10 年、感謝と感動あふれる日々でした。大切で大変な子育て事業は、人と人のつながりの中でこそ育まれます地域の皆様のお力を引き続きお貸し頂きたいと思ひます。

NPO 法人サン・はぎわら理事長 松山則樹

NPO サン・はぎわら 10 周年記念式典



熱いメッセー
ジ
松山理事長の



多くの会員・賛助会員の参加がありました



Goo 連帯による地域愛
たっぷりの歌の披露



理事一同未来を見つめて
頑張ります！！

10 年を振り返って・・・NPO 法人サン・はぎわらの第一歩は、商店街に「あつたか広場」を開設し留守番ボランティアにより、人が集まり、展示や趣味を楽しめる場所の設営に始まり、萩原南保育園(19 年度～) 萩原北保育園(27 年度～)の指定管理を受け、萩原南子育て広場、萩原北児童館の業務委託。子育て講演会、森の宝島 in はぎわら、生涯学習課より中学生の命のふれあい講座の委託、集団託児を行ってきました。



今年度新たに・・・子ども達のまわりから自然がますます失われ、生活が機械化・バーチャル化する中で人間の五感がにぶくなってきている・・・とされています。そんな中で幼児期における自然体験活動は、子どもの心の奥深いところに必ずや影響を与え、健全な育成につながっていくことを信じて、"目・耳・鼻・口・手"を使って自然の不思議を見つけたり、身近な里山の自然に触れ、様々な活動の中から成長して行ってほしい。こういった思いから、森林里山の多面的機能を再構築しようと活動している地域団体と協働して、子どもたちが外で遊びこめる環境を整備し、こども園や児童館の野外活動の一部に取り入れ、子どもたちが多くの自然遊びや冒険ができるよう"融合型森のようちえん"活動に取り組んでいます。今年度は、野上地区の高原の森に整備している森のようちえんの周知と理解を深めています。

「匠の技を見てみよう」きたこども園の年中が森林伐採の現場を間近で体験！大迫力の倒木の瞬間を園児は圧倒されていました。



予告

森の宝島 in はぎわら

29 年 6 月 4 日(日)

9 時～16 時

星雲会館にて

実行委員を募集しています。イベントの計画、企画を一緒に考えませんか。

NPO 法人サン・はぎわらへの応援をお願いします。地域の子供達を応援頂く《こども園サポーター》募集中！
子どもが増えるまちづくり、繋がりのあるまちづくりを皆で考えていきたいと思ひます！！

会員 入会金 2 千円 年会費 3 千円 賛助会員 一口千円～